

## 第2回SS-Lecture 医学者講座Ⅰが開催されました。

平成25年7月20日(土)、9:30～11:00に、第2回目のSS-Lectureとして、「医学者講座Ⅰ」が開催されました。(生徒98名、保護者1名参加)

講師に群馬大学生体調節研究所 岡島史和教授を招き、演題は「薬はどのように効くの？～薬の歴史は毒の歴史でもある～」で講演をいただきました。

また、講座に先だって「生体調節研地域貢献プロジェクト 最先端生命科学セミナーfor前橋女子高校(最先端生命科学の情報を前女の皆さんに)」と銘打ったセミナーが行われました。



薬にはいろいろなものがあります。感染した細菌などを排除する抗生物質や抗菌薬、もともと人の体の中にあってそれが不足したときの補充薬、さらに、薬草としてだけでなく狩猟や殺人の道具に使用されていた植物エキスなど多数あります。

本来ヒトがもっていない、または作り出すことができない物質がどのように効くのでしょうか？薬の歴史は毒の歴史でもあります。トリカブト保険金殺人事件では毒をもって毒を制する完全犯罪が行われようとしていました。また、毒を飲ませて有罪か無罪かを決めた試罪法に用いられた毒は、形を変えて今、神経毒、アルツハイマー病の薬になりました。(実施要項より)

今講座では、このような内容で、薬と毒の関係から、薬はどのように効くのか、を講演いただきました。